

研究に関するお知らせ

研究の名称：胃癌術後補助化学療法における2剤併用療法の忍容性と有効性に関する研究

■研究目的・方法・対象

病理学的ステージⅢの進行胃癌では、根治切除後半年間の2剤(点滴+内服薬)併用術後補助化学療法が近年では主流となっております。しかしながら、化学療法の副作用から十分な投与量が達成できない患者さんもおられ、十分な治療効果が期待できる症例群を特定するに至っておりません。

今研究では、2剤併用術後補助化学療法を実施した症例の忍容性、治療成績、種々の臨床病理学的因子を解析し、①忍容性と2剤併用療法の有効性の相関、②予後良好群や、忍容性の低い症例群の臨床病理学的特徴、を明らかにします。

■研究期間

承認日～2024年12月31日まで

■研究対象・研究に用いる情報の種類

対象としては、2010年1月1日から2024年3月31日までの間に京都医療センター外科で、胃癌に対し根治切除を受け、術後補助化学療法を実施した症例を対象とします。①化学療法の治療期間・休薬や減量、治療中止の有無・総投与量、②無再発生存期間、全生存期間、③種々の臨床病理学的因子をカルテ情報から抽出し、因果関係を解析致します。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究では、患者を匿名化してデータを収集致します。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。みなさまに新たにご負担頂くことはございません。当研究への協力を希望されない場合は、研究担当者までお問い合わせ下さい。

■研究責任者：

京都医療センター外科 中西 保貴

■お問い合わせ先

京都医療センター外科

〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1

電話：075-641-9161

■掲示場所・交付場所

京都医療センター外科ホームページへ掲載